

2020.7.11

インターゼミ2020年度  
サービス・エンターテインメント班 研究計画発表

# 2020年代の日本の「観光立国」を考える

「安定」かつ「高付加価値」産業を構築することは可能か

【学部生】上岡・白井・加藤・石川・藤田  
伊藤・後藤・辰木・堀井・米澤

【修士】李・大谷部・松元・保良

【修了生】葛生・中村・新部・服部



# 本日の報告内容

Contents of Today's Presentation

01 研究背景

02 問題意識

03 現状分析

04 研究内容・方法・目的

05 今後の計画

06 参考文献



# 0 1 研究背景



# これまでの研究

## 01 研究背景

### Background of the Selection of the Theme

年度	研究テーマ
2009年度	「 <b>ディズニー</b> プロジェクト」
2010年度	「マンガ・アニメ・ <b>ツーリズム</b> 」
	「 <b>ディズニー</b> キャラクタービジネスの成功要因に関する考察」
2011年度	「 <b>ディズニー</b> における人材育成」
2012年度	「 <b>ディズニー</b> 海外展開戦略」
2013年度	「顧客・従業員満足度に関する考察 -多摩大生が企業を選ぶ際に重要視すること-」
2014年度	「日本を元気にする <b>IR</b> 和風 <b>IR</b> -対アジア・関西圏統合型リゾート構想-」
2015年度	「 <b>訪日</b> リピーターに日本の魅力を発信し日本通を育てるSNSの利活用」
2016年度	「湘南藤沢の再武装 - <b>観光</b> 振興による地域の課題解決-」
2017年度	「ショッピングモールから見る消費文化」
2018年度	「日本の消費の現状と今後の展望 -多摩地域の過去・現在・未来-」
2019年度	「大都市郊外型高齢社会のコミュニティ形成への挑戦 -高齢者の社会参画を促進する地域づくりプラットフォームの構築を中心に-」

エンターテインメントやその産業のあり方から、社会を洞察する研究に向き合ってきた

# 明らかにになった課題

01 研究背景

Background of the Selection of the Theme

エンターテインメントが、経済、文化、生活の中心に位置づけられたかに見える現代社会

消費活動でさえ、エンタメ化される時代

→軸の弱い都市郊外社会居住者の悲哀

ソーシャルキャピタル形成の視点からの

都市郊外社会の問題解決

## 産業政策課題

インバウンドを意識した観光市場の創造にかかわる研究



コロナ禍を通じて見えた社会の在り方

今回は



労働面、社会面から見た  
幸福に関する課題解決



# 02 問題意識



# 問題意識 -観光に焦点を当てた背景-

- 「工業生産力モデル」の限界
- 人口減少×少子高齢化による労働力不足
- 労働生産性の低迷（米比50%,独比65%）
- アジアの成長を取り込むことの一層の重要化

モノづくり国家を超えていかなければならない



Next!



But...

「観光立国」を目指し始めた日本

(2003年の小泉政権下での観光立国宣言)



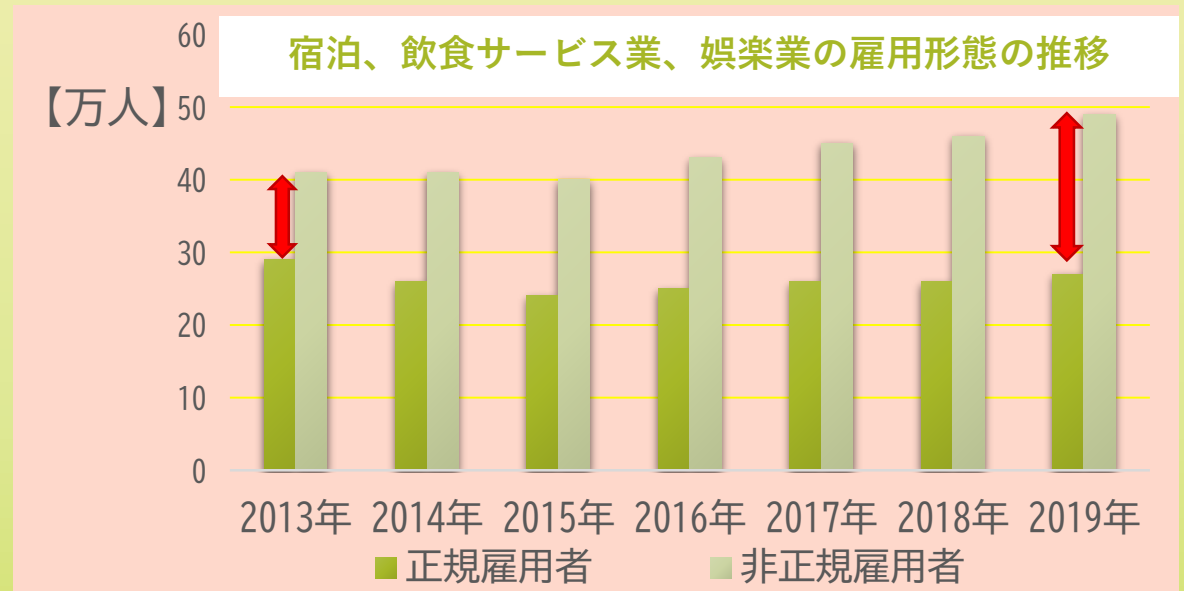
# 03 現狀分析





## 不安定な雇用

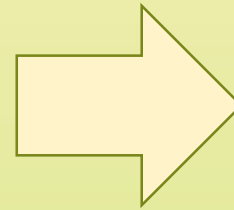
- ✓ 国際比較における観光業の相対的な労働生産性の低迷（米比26.5%,全産業比51%）【深尾,金,権2019】
- ✓ 不安定な雇用形態（非正規雇用およそ40%）
- ✓ 低所得（正規雇用者平均:全業種45万円/月,観光業37万円/月）2014年
- ✓ 非正規労働者のさらなる増加



## 数字重視計画が裏目に

### 現状

- ✓ 観光マネジメント力の欠如  
(万人受けするマスツーリズムによる満足度の低下)
- ✓ インバウンドの急増 (20年間で470万→3100万人)
- ✓ 爆買い頼みの経済政策
- ✓ オーバーツーリズム  
(観光地における観光公害)
- ✓ 業界内・国内観光地における協働不足



### 近年の観光動向

- ✓ 団体旅行から個人旅行へ
- ✓ モノ消費からコト消費へ
- ✓ SDGsの重視



## COVID-19により浮き彫りとなった課題

- 観光を含むサービス産業の脆弱さと基盤の脆弱さ  
⇒ 資金力の弱い中小企業が過半を占める産業としての脆弱性
- 国内・外からの観光客の激減（GW前年比国内:90%減,外:99%減）
- ウイルスとの共存社会において難航する観光産業の経営



# 04 研究内容 · 方法 · 目的



# 「観光立国」としての日本を描く

★ 観光産業を、普遍的需要を持つ産業にするために、  
「安定」かつ高付加価値で稼げる仕組みづくりを検討する

## 現在の「観光産業」における課題の整理

- 観光産業の現状を捉える
- サービス「人材」に関わる課題の整理

## 観光消費の「価値」と消費対象の再考

- 観光の「価値」はどこにあるのか
- 日本がもつポテンシャルとは何か、それは生かされているのか



# 解決すべき課題

- 普遍的需要に基づく観光市場の確立（普遍的観光価値の創出）
- ハイエンド観光市場の開発
- 生産性の向上による、観光関連労働者の所得の向上
- 国内観光産業全体での協業

? なぜハイエンドに着目したのか

観光立国日本としての次の課題「数<質」の解決につながる

⇒リピーター・新たな市場の獲得（欧米諸国,中国・アジアの富裕層）

⇒高付加価値化で客単価の上昇につながる



# エンタメ班全体の研究方法

## 観光産業の現状と課題を捉える

### 産業研究

- 現状の課題整理(オーバーツーリズム, コロナショック)
- 日本における観光産業の系譜の調査
- インバウンド増加の背景
- 観光の”質”の底上げの検討

### 観光コンテンツ研究

- 旅行者の観光動機の究明  
(何を求めて観光をしているのかを明らかにする)  
(高付加価値製品開発を含む)
- 日本が持つポテンシャルの検討

### 人材研究

- 現状の課題整理(低処遇, 非正規雇用頼み)
- 観光人材のあり方(育成・活用)
- ハイエンド対応人材の発掘
- 観光の変革期への対応

経済的に“不変“の産業に、レジャーを”普遍“の価値に！

2020年代の日本の観光産業の再構築、育成策を模索し、  
中長期的に「安定」かつ「高付加価値」の  
観光産業を構築するための具体的提案を行う。



# 05 今後の計画



## ★文献調査

- ・観光白書,通商白書,経済センサス,観光消費・歴史等関連著書及び論文
- ⇒必要に応じて国立国会図書館にて調査

## ★フィールドワーク ⇒ 夏季休暇中に実施予定

- ・観光業従事者へのヒアリング  
確定済み→日伊文化コーディネーター 中橋 恵 様⇒7月下旬
- ・東京ディズニーリゾート⇒9月上旬
- ・星野リゾート⇒8月中旬
- ・マリオットホテル⇒9月下旬
- ・日本旅行業協会⇒8月下旬



# 06参考文献



# 06 参考文献

References

1. 寺島実郎『新・観光立国論』、NHK出版、2015年
2. 「寺島実郎の日本再生論」 TOKYO MXテレビ4/19 ,5/10 ,5/16放送分
3. 寺島実郎「新型コロナウイルス危機の本質—理性ある対応とは何か」、『世界』2020年5月号、岩波書店
4. 国土交通省『観光白書』各年版
5. デービッド・アトキンソン『世界一訪れたい日本のつくりかた』東洋経済新報社 2017年
6. 余暇ツーリズム学会編『おもてなしを考える—余暇学と観光学による多面的検討』創文企画、2019年
7. 中橋 恵『南伊リゾート パンデミック後の試練』 [https://shop-italia.jp/culture/southitaly\\_afterpandemic](https://shop-italia.jp/culture/southitaly_afterpandemic)
8. エリック・ワイナー『世界しあわせ紀行』、早川書房、2012年
9. ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』中公文庫 1973年
10. 村山慶輔『インバウンドビジネス入門講座』（第3版）、翔泳社、2018年
11. 前田勇『観光はいつ生まれたか』 [https://www.athome-academy.jp/archive/culture/0000000133\\_all.html](https://www.athome-academy.jp/archive/culture/0000000133_all.html)  
閲覧日2020年6月27日
12. 熊本県観光協会連絡会議『全国版 新型コロナウイルス感染症収束後の旅行・観光に関する意識調査』
13. 日本労働研究雑誌特集『サービス産業化がもたらす働き方の変化』



## 06 参考文献

14. 日本経済新聞電子版『観光業100社「需要回復1～2年後」過半に』2020年6月5日
15. (公財)日本交通公社 『旅行年報 2019』 <https://www.jtb.or.jp/publication-symposium/book/annual-report/> 閲覧日2020年6月30日
16. (公財)日本交通公社 『自主研究レポート2011/2012』 <https://www.jtb.or.jp/publication-symposium/book/jishukenkyu-report/jishukenkyu-report-2011-2012/> 閲覧日2020年6月30日
17. (公財)日本交通公社 『自主研究レポート2007/2008』 <https://www.jtb.or.jp/publication-symposium/book/jishukenkyu-report/jishukenkyu-report-2007-2008/> 閲覧日2020年6月30日
18. 大和総研グループ 町井 克至『各産業の高齢者・女性・非正規雇用の現状 2015年06月22日』  
[https://www.dir.co.jp/report/research/capital-mkt/esg/20150622\\_009849.html](https://www.dir.co.jp/report/research/capital-mkt/esg/20150622_009849.html) 閲覧日2020年6月30日
19. 総務省統計局『毎月勤労統計調査 毎月勤労統計調査 全国調査 原表 実数原表 (2010年1月～) 毎勤原表 2010年1月～ 年度次 | 統計表・グラフ表示 | 政府統計の総合窓口』 <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003138225> 閲覧日2020年6月30日
20. 総務省統計局『労働力調査 基本集計 全都道府県 全国 年次2-1-2 産業, 雇用形態別雇用者数 (2013年～) - 第12・13回改定産業分類による | 統計表・グラフ表示 | 政府統計の総合窓口』  
<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003078085> 閲覧日2020年6月30日





ご清聴ありがとうございました！

